

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:山形県)

(山形県 平成21年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分(対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
鶴岡市	有限会社ソイビーン	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	単収の増加	単収 87.0kg/ 10a	単収 87.0kg/ 10a	単収 65.7kg/ 10a	単収 138.0kg/ 10a	単収 136.7kg/ 10a	102.6%	単収 138.0kg/ 10a	色彩選別機 (CLXB- 500ZS)1台 (コンプレッ サー付き)	3,355,800	1,598,000	0	0	1,757,800	H19.3.27	成果目標も達成し、補助事業の目的は概ね達成できたと判断される。	成果目標を達成し、施設の利用率も目標値以上であることから適正に事業が実施されていると判断される。	
上山市	西郷地区前川トップブランド米生産組合	産地競争力の強化	産地競争力強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(稲)	品質向上	品質分析(米の食味値)の実施生産者割合の向上	品質分析(米の食味値)の実施生産者割合 70% (115戸)	品質分析(米の食味値)の実施生産者割合 100%	品質分析(米の食味値)の実施生産者割合 100%	品質分析(米の食味値)の実施生産者割合 100% (147戸)	品質分析(米の食味値)の実施生産者割合 100% (165戸)	100.0%	品質分析(米の食味値)の実施生産者割合 100%	無人ヘリコプター	10,850,700	3,097,000	0	0	7,753,700	H18.7.18	無人ヘリコプターを導入し、環境に配慮した防除を実施している。また、地域における産米の品質向上を図るため、全組合員を対象に食味・品質分析を実施し、その分析結果を組合員にフィードバックするとともに、個々の状況に応じた指導を行うことによりその成果が食味値アップにつながっており、地域の品質が向上している。	品質分析の実施生産者の割合を100%にするとという目標値を達成し、品質向上が図られた。	

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分(対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)			完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)				達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
鮭川村	山形もがみ農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力強化に向けた総合的推進	野菜(きゅうり)	需要に応じた生産量の確保	【野菜】(契約取引の推進)きゅうりの契約取引の割合の増加	契約取引の割合 0%	契約取引の割合 2.55%	契約取引の割合 7.76%	契約取引の割合 16.72%	契約取引の割合 31%	53.9%	全出荷量 458,294kg中 76,619kg契約	集出荷貯蔵施設 525㎡ 予冷库1基 冷風冷却方式 112㎡	68,150,250	32,452,000	0	0	35,698,250	H19.3.28	<p>&lt;生産組織の機能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA・生産組織による生産振興説明会の開催等で生産者の掘り起こしに努め、7名の新規栽培者を確保。</li> <li>・今後もJA・生産組織及び行政との連携を図りながら、新規生産者の確保を誘導する。</li> </ul> <p>&lt;土地生産性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体としては事業導入年より着実に増収しているものの、生産者間の格差が存在。</li> <li>・今後は、優良生産者を選定し新規生産者等へのフォローアップ体制の構築、先進地研修等による生産技術の高位平準化を図る。</li> </ul> <p>また、定期的な園地巡回や栽培講習会により、情報の共有化と安定出荷に努める。</p> <p>&lt;流通の合理化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場安時の再生産価格確保のため、下位等級品を加工業者へ原材料販売したことに伴い出荷資材削減効果がみられた。</li> </ul> <p>&lt;契約取引の割合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候を含めた条件が整い生産性が良好に推移し、市場では物量的に飽和状態となり価格安での展開。このため、契約取引業者との調整が進まず、目標未達成。</li> <li>・今後は、引き続き下位等級品の加工取引業者との契約により、生産者価格の確保に努める。</li> </ul> <p>また、主要市場を介し、盛期における定量・定価販売を提案し、推進する。</p>	<p>本事業で集出荷貯蔵施設を整備したことにより、一元集荷によるロットの集約、一元販売が図られ、契約取引の割合が増加した。</p> <p>しかしながら、市場の物量的飽和により価格低迷となり、実需者と契約条件の調整が進まなかった。</p> <p>また、20年度は7月から8月中旬までの高温・少雨と8月中旬以降の豪雨の影響によりA品の割合が低調だったため、契約取引の割合を伸ばすことができず、目標達成には至らなかった。</p> <p>今後は実施主体において、下位等級品の加工取引業者とのさらなる契約の推進、最盛期における定量・定価販売の推進を図っていることから、鮭川村と連携し、契約取引につながるよう安定生産、品質向上のための技術的支援を含めた改善指導を行っていく。</p>	
米沢市	米沢西部資源循環型農業生産組合	産地競争力の強化	産地競争力強化に向けた総合的推進	耕種作物(稲わら)	生産性向上	受益面積の増加	受益面積の合計 1,750a	受益面積の合計 1,800a	受益面積の合計 1,900a	受益面積の合計 2,000a	受益面積の合計 2,250a	50.0%	受益面積が 250a増加 (14%増加)	ロールペーラ (梱包サイズ 90cm× 85cm) 1台 梱包格納用 機械(直径 90~100cm ×100cm) 1 台 積込機 1台	5,040,000	1,680,000	0	0	3,360,000	H18.8.2	<p>本事業で機械導入を行ったことによって自給飼料の面積を拡大し、機械化による省力化を行うことができた。</p> <p>達成率が低い理由としては、稲わら収集時期の天候不順により、計画とおりの収集面積を確保出来なかったことによる。</p> <p>なお、平成21年度については23haを収集予定であり、作業体系を見直し効率化を図ることで実施することとしたい。</p>	<p>当該事業で機械導入を図ったことにより作業の効率化が図られ、受益面積の拡大につながった。</p> <p>しかしながら、作業実施時期の天候不順により計画とおりの作業が出来なかったため、目標を達成することが出来なかった。</p> <p>今後は面積の集積等により一層の作業の効率化を図ることにより、目標の達成が見込まれる。</p>	

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分(対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費					その他
							米沢市	米沢コーンサイレージファーム	産地競争力の強化	産地競争力強化に向けた総合的推進	飼料作物(とうもろこし)				生産性向上	とうもろこし作付面積の増加	とうもろこし畑の合計 1,190a	とうもろこし畑の合計 0a					とうもろこし畑の合計 990a
新庄市	萩野・仁田山耕畜連携組合	産地競争力の強化	産地競争力強化に向けた総合的推進	耕種作物(牧草、稲わら)	生産性向上	受益面積の増加	飼料作物 26ha 稲わら 4ha 堆肥散布 30ha	飼料作物 26ha 稲わら 4ha 堆肥散布 30ha	飼料作物 26ha 稲わら 4ha 堆肥散布 30ha	飼料作物 29ha 稲わら 10ha 堆肥散布 39ha	飼料作物 29ha 稲わら 10ha 堆肥散布 39ha	100.0%	受益面積が9ha増加(30%増加)	家畜ふん尿土壌還元用機械(自走式・積載量2,500kg)1台 梱包格納用機械(バール径85~110cm)1台	5,943,000	2,730,000	0	0	3,213,000	H18.9.5	<p>本事業による機械導入により、受益面積が計画どおり増加しており、高く評価できる。</p>	<p>目標どおりの受益面積の増加を達成していることから、適正に事業が実施されていると判断出来る。</p>	

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分(対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)			完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)				達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
鶴岡市	(社) 月山畜産振興公社	産地競争力の強化	産地競争力強化に向けた総合的推進	飼料作物(牧草)	生産性向上	単収を1%以上増産	1ha当り 収量 24.2t	1ha当り 収量 24.2t	1ha当り 収量 25.3t	1ha当り 収量 29.1t	1ha当り 収量 29.8t	87.5%	単収が 4.9t増加 (20.2% 増加)	追播種機1台	1,883,700	598,000	0	0	1,285,700	H18.10.30	導入した機械により、5年計画で草地更新を実施。目標単収にはほぼ到達している。まだ未実施の牧区は今後も継続し、牧草の確保に努める。	当該事業の実施により作業の効率化が図られ、単収も年々向上している。しかしながら、放牧日数が当初計画より少なかったことから単収が目標値を下回った。引き続き計画的に草地更新を行うことにより、今後目標達成が見込まれる。	
川西町	(財) 山形県農業公社	産地競争力の強化	産地競争力強化に向けた総合的推進	飼料作物(牧草)、肉用牛	生産性向上	飼養頭数を増加	繁殖雌牛 26頭 肥育牛 122頭 合計 148頭	繁殖雌牛 26頭 肥育牛 122頭 合計 148頭	繁殖雌牛 81頭 肥育牛 165頭 合計 246頭	繁殖雌牛 104頭 肥育牛 247頭 合計 351頭	繁殖雌牛 97頭 肥育牛 242頭 合計 339頭	106.3%	飼養頭 数が203 頭増加 137%増 加	草地造成改良5.5ha 家畜保護施設5棟 牧場用機械 施設2台 (ロールバ ー、積込 機)	114,220,650	57,105,000	0	0	57,115,650	H19.3.31	川西町は、古くから黒毛和牛の繁殖・飼育が盛んで県内トップの頭数を誇っている。特に全国に名だたるブランド「米沢牛」の生産基地を支える肥育素牛の生産では一翼を担っている。このたびの事業は、新たな「米沢牛」生産基地として期待される中、成果目標339頭のところ351頭で達成率106.3%と順調な推移となっている。また、ベテランの肥育農家に加え新規就農者や20代の後継者など多彩な面々が集まり、繁殖と肥育部門の新たな米沢牛生産団地を形成している。	目標を上回る飼養頭数の増加を達成していることから適正に事業が実施されていると判断出来る。	

都道府県平均達成率	54.2%	総合所見	8事業中4事業が目標を達成できなかったが、天候不順、作付予定地の排水不良等原因を把握し、既に対応策を協議・検討している状況である。今後も目標を達成できなかった事業主体に対して関係機関の指導・支援の下、改善に向けた取組を徹底することにより、早期の目標達成を図るものである。
-----------	-------	------	---